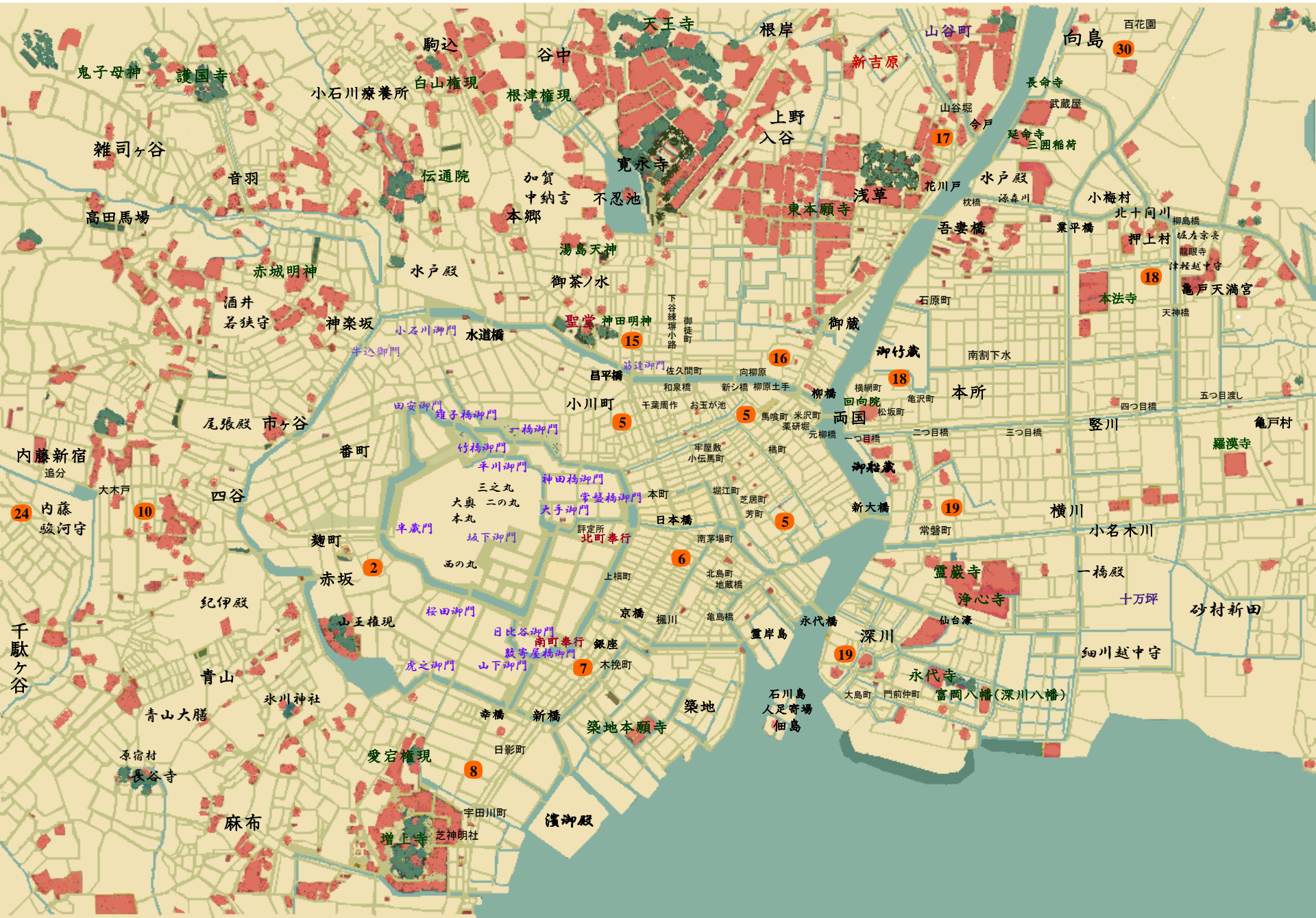


# そぞろ宗兵衛江戸暦3 名残の月 藍川慶次郎



しんよしはら  
新吉原

むこうやなぎはら  
向柳原

くぜひろかげ たまお ぶんだゆう  
久世広景 — 玉緒 (妻)、文大夫 (家宰)

につぼんてい  
日本堤

やなぎはら どて  
柳原土手

お利与 (元奥女中)、利佐 (娘) = 芙美、専太郎 (利佐の恋人)

さんやたまち  
山谷田町

よしかわちよう  
吉川町

くぜさまのすけ せったなおし はんべえ ためぐろう  
久世左馬助 (長男)、雪駄直しの半兵衛 (手先)、水引の為五郎—イネ (娘)

さんやぼり  
山谷堀

よねざわちよう  
米沢町

うまのすけ  
右馬之助 (息子 内与力) = 筒井右馬之助 — 美里 (妻)

いまだ  
今戸

やげんぼり  
薬研堀

じんすけ しか  
甚助 (中間)、彦四朗 (若党)、お鹿 (下女)

やなぎしまむら  
柳島村

ばくろちよう  
馬喰町

いちのしん  
市之進 (岡崎藩浪人の子)

おしあげむら  
押上村

こでんまちよう  
小伝馬町

くぜうまのすけ つついがのかみまさのり  
久世右馬助 (次男) = 筒井伊賀守政憲 (南町奉行)

いしはらちよう  
石原町

たちばなちよう  
橘町

いぬいじろう ざえもん えいのしん とみ  
乾次郎左衛門 (年番与力 美里の父)、栄之進 (養子) — 富 (母)

よこあみちよう  
横網町

しばいちよう  
芝居町

かわだやきゆうすけ しな  
河田屋久助 (船宿) — お品 (女房)

かめざわちよう  
亀沢町

ふきやちよう  
葺屋町

すすきだじんさい  
薄田仁斎 (町医者)

まつざかちよう  
松坂町

よしちよう  
芳町

さださち  
定吉 (玉屋の花火師)

ふかがわもんぜんなかちよう  
深川門前仲町

さかいちよう  
堺町

かめふじ おきき ゆきえ  
亀藤 お喜佐 (女将 左馬助の娘)、幸江 (若女将)

ふかがわおおしまちよう  
深川大島町

たかさごちよう  
高砂町

せいすけ よきち かつじろう  
清助 (番頭)、与吉 (板前)、勝次郎 (手代)

したやおかちまち  
下谷御徒町

ほりえちよう  
堀江町

ひなのゆ  
雛乃湯 お京 (後家)

したやねりべいこうじ  
下谷練堀小路

かみまきちよう  
上槇町

すがの でんじゆうろう すがの でんざえもん  
菅野伝十郎 (隠密廻り同心)、菅野伝左衛門 (吉原の同心)

さくまちよう  
佐久間町

みなみかやばちよう  
南茅場町

こぜきしんたろう まさえ くめ もさく  
小関信太郎 (南町定町廻り)、正枝 (母)、お糸 (下女)、茂作 (下男)

きたじまちよう  
北島町

さきち  
佐吉 (中間小者)、新吉 (手先 貸船つくだ屋の息子)

かわぐちまち  
川口町

みずきこういちろう みなみまちじょうまちまわり  
水木弘一朗（南町定町廻り）

いいおとうじゅうろう  
飯尾藤十郎（北町定町廻り同心）

まつだいらあわのかみただふさ  
松平安房守忠房（火付盗賊改方）

おかばやしじんじゅうろう ぬくいざんじゅうろう  
岡林陣十郎（火盗改方同心）、貫井三十郎（火盗改方同心）

おかばやしかずま おかばやしじんじゅうろう  
岡林数馬（岡林陣十郎の弟）、丸山、藤木、米倉、宮原

こまぎく  
駒菊（柳橋芸者）

せいしん に  
精心尼（庵主 花の戸）

こちょう に りこうせん あげは  
胡蝶尼、李江宣（父 唐人闇取引）、揚羽（母 お吉）、おしん（女童）

なかにしつぐまさ てらだご えもん たかなぎまたしろう しらいとる  
中西子正（道場主）、寺田五右衛門、高柳又四郎、白井亨

つた いづつ てれすけ ほうかん  
お蔦（引手茶屋 井筒 の女将）、照助（幫間）

じゅうえもん  
重右衛門（代書屋）

よしの おいらん さき  
吉野（松葉屋 お職花魁）＝ 咲

しょうぞう  
庄造（紺屋阿波屋の藍染職人）

うたがわとよくに くにさだ  
歌川豊国（絵師）、国貞（浮世絵師）＝ 五渡亭

とせ ほうしゅん  
お登勢（武蔵屋の仲居）、宝春（鼓打ち）

でん ばんどうみつごろう せがわきくのじょう まごろう  
竹本お伝（坂東三津五郎の後妻）、瀬川菊之丞（女形）、万五郎（お伝の父）

えんこうぼうつきなり  
遠喉坊月成（戯作者 町与力山崎助右衛門の息子賞三郎）

ほさかしょうさぶろう  
保坂省三郎（出羽庄内藩酒井家）